

## 重機作業では少しのミスが重大事故に繋がります！

～安全確認を徹底し、重機転倒などの重大事故を防ぎましょう～

重機が転倒したり、作業員に接触すると、その衝撃は大きく、人命に深刻な影響を及ぼすことがあります。

作業の中にいくつもの危険が潜んでいることをしっかり頭に入れて、慎重に作業を行いましょう。



### 事事故事例

### 支持地盤が崩落し、バックホウが転倒

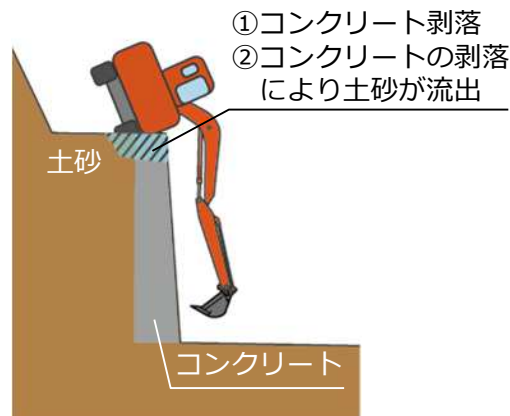


#### 【事故概要】

止水壁の取り壊しで発生したコンクリート殻をワイヤーモッコ（網）に入れてバックホウで吊り上げた際、モッコの一部がH形鋼に引っかかって吊り上げられなくなったため、オペレーターが降りて確認している最中にバックホウの支持地盤の一部が崩壊し、バックホウが転倒したものの。

#### 【主な要因】

バックホウを設置した場所の地盤の安定（反力等）の確認を怠った。



○ 良好な地盤に見えても、地盤の強度にはバラツキがあります。地盤が沈下して機体が傾斜することがないように、**地盤強度や沈下の可能性などについて事前調査を行い、必要な対策を講じましょう。**

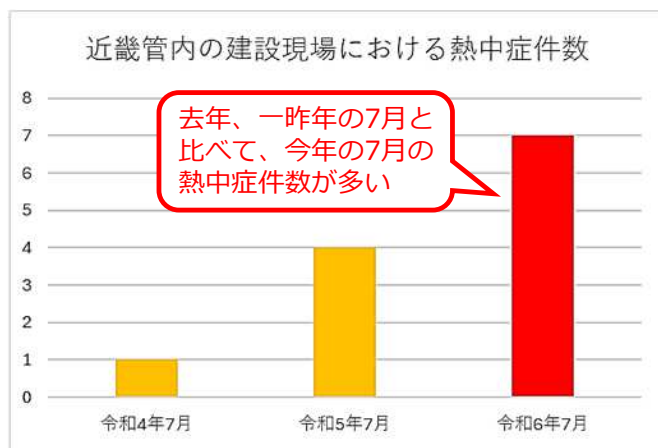
○ 前進時のキャタピラの接地面をオペレーターは直接見ることが出来ないなど、操縦席からの見える範囲は限定的です。構造物等に近接した作業を行う際など、**誘導員の合図を必ず確認しましょう。（伝わりやすい合図を事前に確認！）**



**重機接触（転倒）事故は、特に重点的な対策が必要な「重点対策項目」に指定しています！**

# 警戒！近畿管内の熱中症が増えています！

近畿管内の建設現場において、熱中症が増えています。あんぜん令和6年6月号（第354号）でもお知らせしましたが、万全な熱中症対策を講じましょう。



グラフ：近畿地方整備局調べ

## 熱中症を防ぐポイント

- 作業前にあらかじめ体温を低下させる対策（**プレクーリング**）を行いましょう  
※作業前にシャーベット状飲料（アイススラリー）を摂取するなど
- **水分と塩分**をこまめに摂取しまししょう etc.



その他の熱中症を防ぐポイントについては、あんぜん令和6年6月号（第354号）をご覧ください



## 事故防止対策の好事例

安全対策として取り組まれている実例を多くの現場に取り入れて頂くために、現場の協力を得て、『事故防止対策の好事例』を収集しましたので紹介します。

作業員の安全を確保するためのアプローチは様々であり、各現場で創意工夫が見られます。紹介する好事例が広まると同時に、新たな取り組みのきっかけになることを願います。

### 好事例① 車両移動時のチェックの徹底



ブームの格納忘れ等を防止するために、停車作業時はハンドルカバーを設置し、格納を確認した後にハンドルカバーを外すルールとしている。

### 好事例② 利用箇所に注意事項を掲示



折りたたみ足場台の利用箇所の近くに、使用する際の注意事項（アウトリガの設置）を掲示している。

### 好事例③ 地下レーザー探査による管路等の事前確認



作業前に必ず地下レーザー探査を行い、確認した結果（管路等の箇所・深さ）を現地に明示している。

### 好事例④ 注意喚起レーザー光による立ち入り禁止エリアの表示



注意喚起のレーザー光を路面に向けて投射し、車両後方に作業員が進入することを防止している。